

1 下水道維持管理事業予算について（229億円、対前年度比10億円増（+4.7%））

＜管路：管理延長8,324.6km ポンプ場：16か所 水再生プラザ等：10か所＞

（百万円）

項目	R5予算	R6予算	増減額	増減率
管渠費	5,120	5,177	57	1.1%
ポンプ場費	915	913	△2	0.2%
処理場	12,553	13,432	878	7.0%
小計	18,588	19,521	933	5.0%
徴収業務費等	3,297	3,391	95	2.9%
合計	21,885	22,913	1,028	4.7%



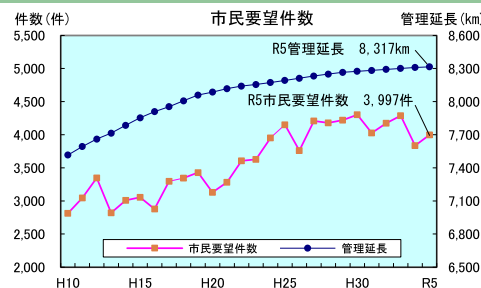
2 事業概要

(1) 管路施設の維持管理

管理延長の増加（令和5年度における管理延長：8,317km）に伴い、市民要望件数も増加傾向にあり、適切な維持管理に努めている



【参考】道路陥没事故（国土交通省ホームページ 千葉市の事例）



- 【施設数】 ・管理延長 8,325km ・マンホール 216,980箇所 ・公共ます 447,280箇所
- 【業務内容】 ・管路点検（全管路を対象に5年に一回のサイクルで実施する目視点検）：1,660km
 ・管路調査（テレビカメラなどによる本管の詳細調査）：219km
 ・管路修繕（調査結果に応じた管路施設の修繕）：3,982箇所



（管路点検：目視）



（管路調査：テレビカメラ調査）



（管路修繕：部分内面修繕）

(2) 処理施設の維持管理

- 【施設数】 ・水再生プラザ 10箇所 ・ポンプ場 16箇所 ・汚泥処理施設等 7箇所
- 【業務内容】 ・運転管理（水再生プラザ、汚泥処理施設などの運転管理）
 ・汚泥等運搬・処理（脱水汚泥、焼却灰の運搬処理など）
 ・設備点検・検査（電気設備などの点検検査）
 ・設備修繕（機械設備、電気設備の修繕など）



（運転管理）



（汚泥等運搬・処理）



（設備点検・検査）



（設備修繕）

3 令和6年度における特徴的な取組

(1) 断熱マンホール蓋の設置拡大（2.9億円）

- 積雪時のマンホール周辺における段差解消を目的に、これまで年間10,000か所設置
- 令和3年度の度重なる大雪に伴い、市民等から段差解消や早期設置の要望が多数寄せられたことから、
令和5年度以降は年間12,000か所に増やし、令和6年度も継続して年間12,000か所を設置
- 当初計画よりも1年前倒しとなる
令和8年度中の設置完了を目指す



断熱蓋設置前



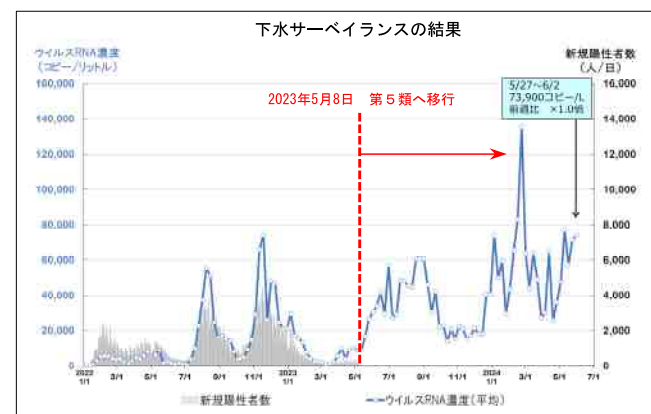
断熱蓋設置後

各年度の設置箇所数（単位：千か所）

年度	R4実績	R5見込	R6予定	R7予定	R8予定
設置数	11	12	12	12	11
残数	46	34	23	11	0

(2) 下水サーベイランス業務（5百万円）

- 市内における新型コロナウイルスの新規感染者や流行の兆候を把握することを目的として、
令和3年2月から北大に委託して実施
- 本市人口の約52%（約100万人）の下水を対象に調査
- 調査結果は、**令和4年8月から毎週ホームページで公表**
- 令和4年10月からは新型コロナウイルスに加え、**インフルエンザウイルスの測定も開始**
- 令和6年2月から直営による分析体制を整備**し、測定精度を保ちつつ費用を抑えて調査を実施
- 受診体制や検査数の影響を受けないことから、市内の感染状況を把握するツールとして活用



市ホームページにおける公表状況（新型コロナウイルス）



採水の様子



検体抽出の様子

(3) ポンプ場及び水再生プラザの照明設備のLED化（1.4億円）

- 脱炭素化のため、**令和12年度（2030年度）**までに**事務室等**の照明設備のLED化を段階的に実施

令和6年度 下水道主要事業概要（建設事業費）

令和6年度 札幌市営企業調査審議会 第1回下水道部会

1 下水道建設事業予算について（318億円、対前年度比95億円増（+42%））

<管路：整備延長29.8km ポンプ場：3か所 水再生プラザ等：10か所>

表-1 施設別事業費（百万円）

区分	R5予算(A)	R6予算(B)	増減額(B-A)、(増減率)
管路	11,517	21,998	10,481 (91%)
ポンプ場	82	521	439
水再生プラザ等	10,867	9,836	▲ 1,031 (▲ 9%)
合計	22,384	31,834	9,450 (42%)



図-1 施策別構成比

2 事業概要

(1) 下水道施設の再構築(294億円、うち、国からの交付金41億円) 構成比92.3%

老朽化した管路や処理施設の機械・電気設備の改築を継続して推進

- 【管路】 28.5km [20,128百万円]
- ・都心アクセス道路事業に伴う管路の移設 1.1km (9,206百万円)
 - ・老朽管改築 25.5km (7,476百万円)
 - ・新規整備（未整備地区の整備） 1.2km (455百万円)
 - ・他事業関連（道路、新幹線） 0.7km (481百万円)
 - ・公共ます設置業務 (2,510百万円)
- 【ポンプ場】 [359百万円]
- ・茨戸中部中継ポンプ場雨水ポンプ (166百万円)
 - ・豊平川中継ポンプ場燃料設備増設等 (193百万円)
- 【水再生プラザ等】 [8,884百万円]
- ・西部スラッジセンター乾燥機設備等 (3,479百万円)
 - ・手稲水再生プラザ電気設備等 (1,381百万円)
 - ・覆盖（厚別、拓北水再生プラザ）設置等 (795百万円)
 - ・水再生プラザなど9か所の改築工事等 (3,229百万円)



図-3 都心アクセス 全体概略図



図-2 都心アクセス道路事業の断面

(2) 災害に強い下水道の構築(21億円、うち、国からの交付金3億円) 構成比6.5%

雨水拡充管整備による排水能力の向上や管路・施設の耐震化等を継続して推進

●雨水対策事業 [1,772百万円]

【管路】 1.3km [1,748百万円]

- ・新道東地区雨水拡充管の整備 0.2km (236百万円)
- ・中の島地区雨水拡充管の整備 0.3km (374百万円)
- ・山の手地区実施設計 (44百万円)
- ・窪地など雨水が集まりやすい場所への対策 0.8km (1,046百万円)
- ・調査、設計業務等 (48百万円)

【水再生プラザ】 [24百万円]

- ・処理施設の浸水対策に係る検討業務 (24百万円)



R6着手 図-4 新道東地区 整備箇所図

●地震対策事業 [310百万円]

【管路】 [67百万円]

- ・マンホール耐震化工事、管路耐震診断 (67百万円)

【ポンプ場】 [162百万円]

- ・茨戸東部中継ポンプ場耐震改修等 (162百万円)

【水再生プラザ等】 [81百万円]

- ・手稲水再生プラザ水処理棟耐震診断等 (81百万円)



図-5 中の島地区 整備箇所図

(3) 公共用水域の水質保全(0.3億円、うち、国からの交付金0.1億円) 構成比0.1%

合流式下水道の施設に関し、雨天時に放流される汚濁負荷量が、法定基準値内であることを確認

【水再生プラザ】 [27百万円]

- ・合流式下水道の施設の改善として実施した対策の効果を確認するための業務 (27百万円)

(4) 下水道エネルギー・資源の有効利用(4億円、うち、国からの交付金0.3億円) 構成比1.1%

下水道の持つエネルギーを融雪等に有効利用

【管路】 [55百万円]

- ・下水熱ロードヒーティング実施設計 (38百万円)
(地下鉄栄町駅周辺)
- ・小規模な雪処理施設に関する検討業務 (17百万円)

【水再生プラザ】 [299百万円]

- ・東部水再生プラザ雪処理施設新設 (229百万円)
- ・太陽光発電設備調査検討業務 (70百万円)



R7末供用開始 図-6 東部水再生プラザ 雪処理施設イメージ図